



憲法でアクション!!ケアに満ちた社会を切り拓く

ナース★アクション



vol.38

2026.1.29

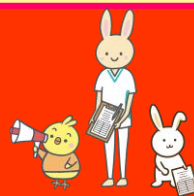
全日本民医連
職員育成部

<https://kirarikango.com/>

総選挙で悪政を変えよう

45県連250人の看護幹部が“ナース★アクション集会”

今こそ、看護の未来をかけた大きな運動を！



“ナース★アクション集会”



川上副会長が開会あいさつに立ち、大儀なき解散総選挙だが、反面、今の自分たちが求める未来をつかむチャンスと捉えて、軍事でなく命と暮らし、ケア最優先の社会目指して、さらにパワーアップしたアクションを起こそうと呼びかけました。

看護職養成校を代表して山田副校長(東葛看護)が、看護師養成所がなくなるということはどういうことか、その地域の医療を担う看護師がいなくなるということ。イコールその地域の住民の命と健康、そして暮らしが守れなくなるという危機的な状況に対して看護学校協議会も立ち上がり各地で横繋がり運動をしていることを報告。

山形からは全日本民医連のひな形を元に県連会長名で照会したところ、前向きな回答がすぐに届き、改めて県知事あてに先日要請書を提出した取り組みが報告された。

岐阜からは県内93病院(4割)から寄せられたアンケート調査を元に3回目となる県との懇談会を行い、県内の500床の看護部長さんも参加。懇談では県からの前向きな見解もいただいた。また、アンケートと共に、地域医療守る署名も増し刷りして届くなど小さな働きかけではあるが、積み重ねることがとても大切だということ。自分の病院だけが大変なのだと思っていたが、今回これだけの反応があり、共通の課題を持って働きかけていく事の重要性を実感した。

閉会あいさつで坂田副会長は、これから私たち看護はどうなっていくのかという閉塞感と、心の中にじんわりと灯る怒りが、皆さんの中にはあるのではないかと。看護の未来をかけた大きな運動をと呼びかけた。

ナースアクションにご参加のみなさんへ



やりがいを持って
働く仕事に
なっていない

吉良よし子参議院議員から
温かいビデオメッセージ

戦争か非戦かの岐路に立つ重要な総選挙です。看護職員投票率100%を目指して学習と対話をお願い致します。

■全日本民医連 2026年衆院選用動画

https://www.min-iren.gr.jp/news-press/news/20241011_21115.html

